

# 持続的・安定的な地域クラブ活動の運営へ向けた取組

将来にわたって生徒たちが継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保・充実させるためには、持続的で安定的な地域クラブ活動の運営体制が必要です。本記事では、ふるさと納税を活用した財源確保や地域クラブ活動の創設や運営を支援する補助制度、学校施設のスマートロック整備、相談窓口の設置等の事例を紹介します。



## 茨城県守谷市

ふるさと納税型クラウドファンディングに挑戦し、新たな財源を確保。寄附金の一部は、地域クラブ活動の用具購入や指導者研修費用等に充当。

→ P.52



## 新潟県阿賀野市

地域クラブ活動の会場使用料や大会参加にかかる費用について、学校部活動と同等の支援。指導者も負担なく引率できる環境を整備。

→ P. 54



## 長野県松本市

地域クラブ活動の創設や運営を支援するため、ポータルサイト「まつチャレサポートデスク」を設置。

→ P. 56



## 福井県鯖江市

学校体育施設等の利用団体を登録制にし、鍵の貸し借りをスマートロックで管理することで鍵の管理負担を解消。

→ P. 58



## 岐阜県瑞穂市

統一的な相談窓口を設置し、保護者や指導者等の関係者がいつでも気軽に相談できる体制を整備。

→ P. 60

福井県鯖江市

基本情報

人口 68,302人  
 公立中学校数 3校  
 公立中学校生徒数 2,059人  
 部活動数 44部活



## 学校体育施設へのスマートロックの導入 ～地域クラブ活動の指導者の負担を軽減～

福井県鯖江市では、学校体育施設の管理をデジタル化し、地域クラブ活動でも活用しています。利用団体は登録制とし、鍵の貸し借りをスマートロックで管理することで、鍵の管理負担を解消。利用履歴は、管理者がリアルタイムで確認可能となり、QRコードで活動内容の報告ができるようになりました。

### 課題・背景

- 学校開放事業における社会体育団体の施設利用と地域クラブ活動の施設利用の双方において、学校体育施設の予約や鍵の貸借等は利用者の負担であることが指摘。
- 施設の予約や鍵の受け渡しをスムーズにし、利用者の負担を軽減する必要。

スマートロックの活用

### スマートロック導入に向けたプロセス

令和4年度

協議・予算措置

学校開放事業の課題と部活動地域移行の今後想定される課題を統合的に解決するため、導入プロジェクトを開始。導入によるメリット・デメリットを整理し、導入に向け予算措置を図る。

令和5年度

システムの導入

令和5年、市内全校の学校体育施設でスマートロックを導入。利用時間帯のみ開閉可能な暗証番号を利用団体に発行することで、指導者は鍵を借りに行く必要がなくなった。

令和6年度

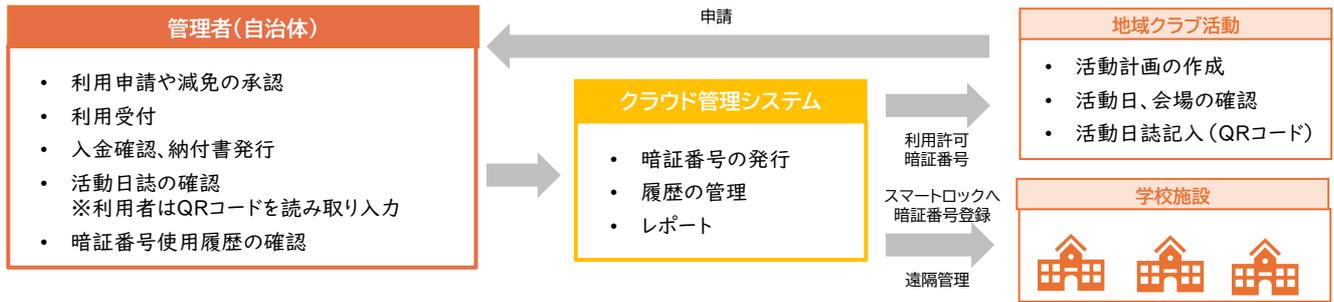
規則改定の検討開始

導入にあたり、教育委員会内で令和8年度地域クラブ活動完全実施を前に、学校管理規則と学校開放規則を見直し、地域クラブ活動が優先的に施設利用できるよう制度整備の検討を開始。



学校開放事業はスポーツ課が担当、地域クラブ活動は学校教育課が担当していましたので、各課で連携して、利用者の負担軽減という課題に対応しました。また、このスマートロック導入については、県内事例がなかったため、学校の理解を得るため、学校長や教職員等に丁寧な説明をしました。

## 取組の詳細



### スマートロックの利用手順

- 1 利用申請をした団体に暗証番号を発行
- 2 体育館等に設置されているキーボックスを暗証番号を入力して開けて鍵を取り出す
- 3 利用後、活動日誌をQRコードから送信



### スマートロック設置のポイント

各学校体育施設でドアの形状が異なるため、オンラインで開閉するキーボックスを採用しました。運用にはWi-Fiの電波が必要であったため、学校の校舎の電波を利用するとともに、校舎の玄関の防犯カメラも利用して、防犯性を高めました。

## 成果と課題、今後の展望

### 成果

#### 1 運営団体、指導者

- スマートロックにより、地域クラブ活動の指導者による鍵の受け渡しの負担を大きく軽減。地域クラブ活動の指導業務に専念することができるようになった。
- 鍵の貸出事務を担う職員の業務負担が軽減。



運営団体

指導者の鍵の借用手続きの負担が軽減できることで、地域クラブ活動の指導に専念いただけるようになりました。



指導者

これまでは運営団体の事務所の営業時間内に鍵を借りなければならなかったのですが、とても便利になったと感じています。

#### 2 管理者

- 貸出日や時間数等の記録が全てデータで記録されるため、体育施設の稼働率等の統計データの作成業務を短時間で行うことが可能となった。
- 施設利用の透明性が向上し、利用団体の不正利用防止や管理強化につながった。なお、複製防止として、コピー防止の鍵とシリンドラーに交換している。

### 課題と今後の展望

#### 1 不正利用防止

- スマートロックの暗証番号の不正利用を防ぐためのルール整備が引き続き必要。責任の所在を明確にする。

#### 2 地域クラブ活動の優先利用制度

- スマートロックの予約において、地域クラブ活動の優先利用制度の導入へ向け、規則改正を行う。

### 担当者インタビュー

#### Q: スマートロック導入の成果を感じていますか？

スマートロックの導入後、地域クラブ指導者や事務職員の負担を大きく軽減できました。また、これまでは手集計をしていた施設稼働率等の統計データの作成も短時間で行うことができました。

#### Q: どのように利用者の理解を得ましたか？

スマートロック利用前のレクチャーには時間をかけました。地区ごとに登録団体に集まっていただき、説明会を開催しました。御高齢の方もいらっしゃいましたので、体験会を開催し、一度経験してもらったことで、問題なく利用できるようになりました。

#### Q: 導入のコストはどのくらいでしょうか？

イニシャルコストは15校で約500万円です。ランニングコストは1台約2,200円/月です。コスト以上に担当者の事務負担や利用者の負担軽減につながっていると感じます。